

# 掛川市・袋井市 新病院建設だより



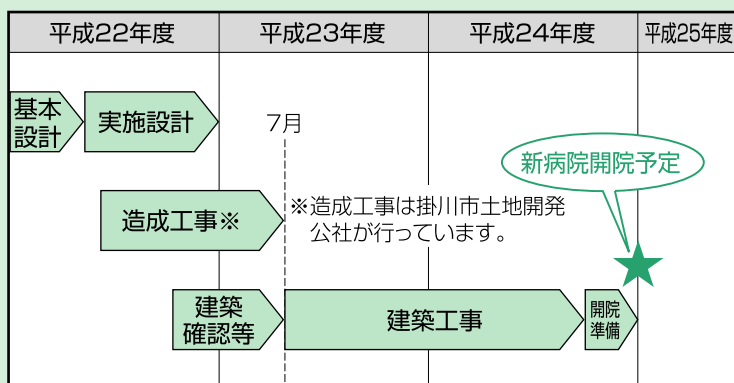
November 2010 Vol.6

## 造成工事が本格的に始まる

\*来年夏の病院建築着工に向けて、順調に準備が進んでいます\*



### 新病院開院までの建設スケジュール



新病院の建設予定地では、10月から本格的な造成工事が始まりました。現在は、樹木の伐採や地盤改良工事が行われており、建設地の様子が以前と大分変わってきました。

また、旧ゴルフ場敷地内にあった高木を新病院のシンボルツリーとして残すための移植工事も行われました。

造成工事は、新病院の建設が始まる平成23年7月までに完了するように、急ピッチで作業が進められています。

# 新病院の姿

～日本一の『エコホスピタル』を目指して～

新病院は、敷地の特性や恵まれた周辺の自然環境を生かし、日本一のエコなホスピタル(病院)を目指しています。  
今回は、新病院が環境面において、特に配慮している点について紹介します。

## ●自然環境との共生

- ・現在の地形を生かし、敷地の造成範囲を最小限にするため、南側が一段高い2段造成を採用しています。
- ・周辺の緑を最大限残し、病院を訪れる方の癒しの空間となるよう、全国的にも類を見ない「自然と一体となった病院」を実現します。

## ●地球温暖化の防止

- ・太陽の熱や光を利用した新エネルギー設備を採用します。
- ・雨水利用や屋上緑化、高効率照明器具(LED)を採用し、省エネルギーを進めます。
- ・建物を将来改修しやすい構造にするため、将来にわたりCO<sub>2</sub>排出量を減らします。



〈同規模(500床程度)の病院と比較して〉  
★光熱水費22%削減!  
★CO<sub>2</sub>排出量20%削減!

★年間約7300万円の低減  
〈維持管理費の大幅低減!〉

# 新病院への足を確保します

バス路線やタクシーの乗り入れなど、公共交通体系の整備について、具体的な協議が始まりました。

バスやタクシーなどを利用して新病院に来られる方が不便を感じないように、掛川市と袋井市が互いに協力して公共交通体系を整備する「公共交通整備プロジェクト会議」を設立しました。  
両市の公共交通の現状を調査したり、国・県との協議を行ったりして、新病院への「足」を確保します。

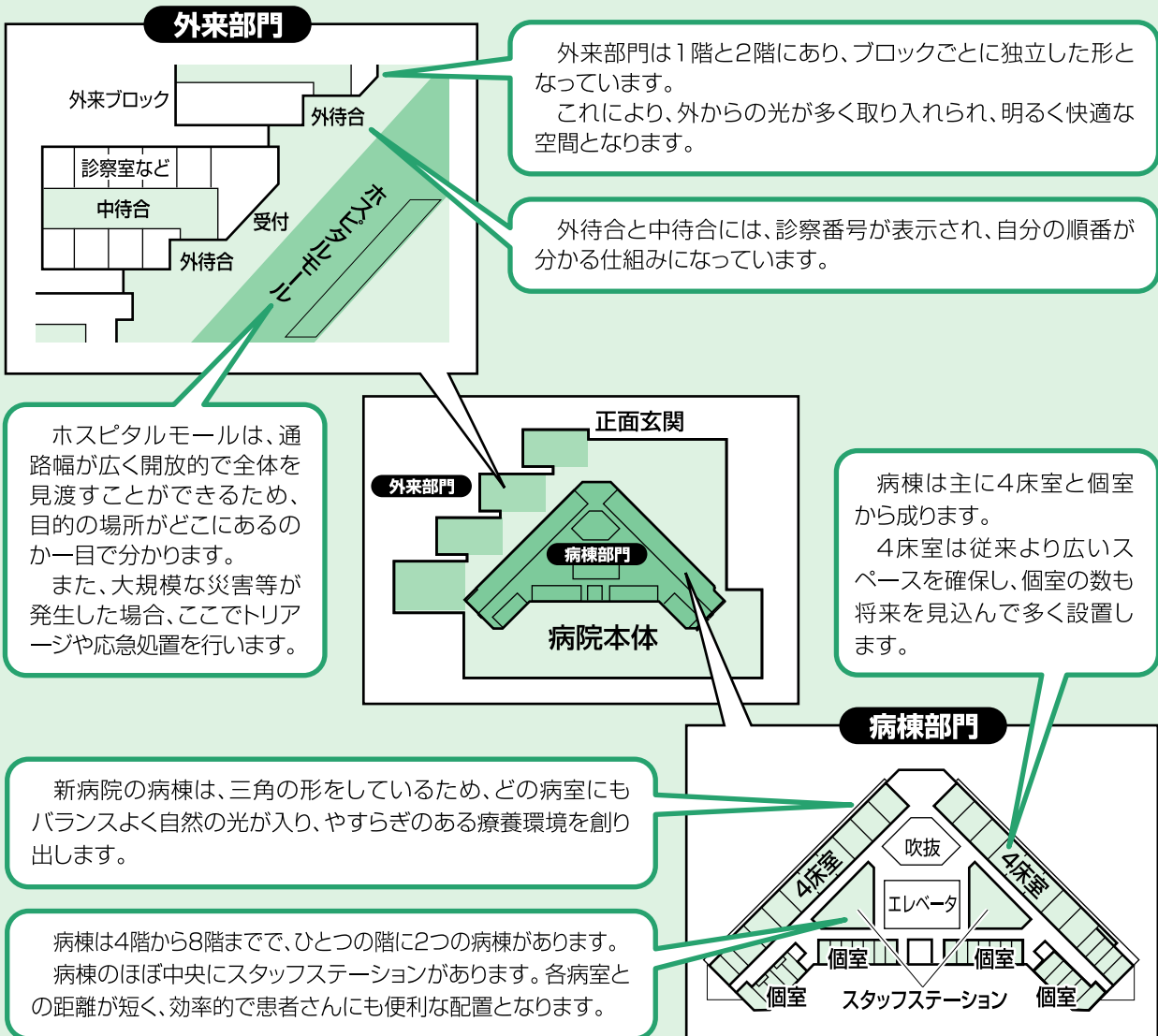


## ●検討内容

- ・現在の両市の公共交通の状況を調査します。
- ・公共交通機関を利用して新病院へ来られる方の人数を見込みます。
- ・できるだけ利用しやすく不便にならない運行方法を考えます。
- ・国や県、民間の交通機関との協議や調整を行います。

## 新病院設計のポイント ～①外来、②病棟～

平成25年春に開院予定の新病院は、正面玄関から長く伸びるホスピタルモールに沿って配置された外来部門と、三角形の形をした病棟が大きな特徴のひとつです。今回は、その外来と病棟についてご案内します。



## 『エコホスピタル』のイメージ



- 高性能ガラス
- 節水器具の採用
- 省エネ機器の採用
- 高効率照明器具(LED)の採用

これ以外にもさまざまな新エネルギーや省エネルギー技術を採用し、光熱水費を抑え、CO<sub>2</sub>排出量を減らします。

CASBEE静岡の評価で「Aクラス」を目指します。

※CASBEE静岡 建築物の環境性能を評価し格付けする手法。「Aクラス」は大規模病院としては最上位。

# 新病院に向けての取り組み状況

両市民が安心して受診できる病院づくりを目指し、掛川市立総合病院と袋井市民病院の職員は日々協議を進めています。

## ●設計業務

今年の1月から始まった設計業務は作業が着々と進み、新病院の姿が明らかになってきました。現在は、室内の備品をどこに配置するのか、コソセントなどの電気設備や医療ガスなどの設置場所はどこにするのかなど、細部にわたって確認をしています。

今後は、年内に設計の詳細をまとめ、年明けから積算業務を行い、3月末までに完了する予定です。

## ●運営計画

設計業務と並行して、各部門において運営計画の策定も進めています。

患者さんが来院してからお帰りになるまでの流れや、部門間の職員の連携方法などについて、ひとつひとつ確認しています。

今後は、開院するまでに各部門の運営マニュアルを作成し、新病院での業務の統一を図ります。



## ●人事交流

同じ市立病院とはいえ、その運営方法や業務内容には異なる点がいっしょにあります。

しかし、新病院の開院時にはそれぞれの業務をスムーズに行う必要があるため、本年度から薬剤部門や看護部門などにおいて、両病院間で人事交流を始めました。

お互いの病院の業務内容を知り、交流の経験を生かすことで、新病院の機能を高めていきます。

今後も、両病院の職員をはじめ、市の関係職員も含めて、「コミュニケーションを図りながら、新病院が両市民をはじめとする地域の皆さんに心から信頼される病院となるよう、努めていきます。



# 組合議会

平成22年第2回組合議会が8月25日に開催されましたので、その内容をお知らせします。

## ●議決内容

### 1 平成21年度組合会計決算

歳入 97,343,376円  
 歳出 91,643,521円  
 差引 5,699,855円  
 (翌年度に繰り越します)

【主な事業】基本設計業務委託、基本計画策定業務委託

### 2 監査委員の選任

組合議員選出の監査委員が新たに選出されました。  
 (新)秋田 稔 議員

### 3 平成22年度組合会計補正予算(第1号)

5,698千円の増額  
 (市民説明会の開催費用、職員人件費負担金ほか)

## ●組合議員

組合議員の交替により、議会構成が変わりましたので、お知らせします。

議長	副議長	議員	氏名	摘要
加藤 一司	佐藤 省一	○鳥井 昌彦 ○松井 俊一 堀内 武治 ○竹嶋 善彦 ○廣岡 英一 ○芝田 禮一 秋田 稔 大庭 通嘉	掛川市議会議員 袋井市議会議員 掛川市議会議員 袋井市議会議員 掛川市議会議員 袋井市議会議員 掛川市議会議員 袋井市議会議員	
			〃	〃
			〃	〃
			〃	〃

○印は新任

(敬称略)



# 掛川市・袋井市新病院建設事務組合

〒436-0043 掛川市大池2798番地の11(掛川市勤労者福祉会館内)  
 TEL.0537-61-2700 FAX.0537-61-2701  
 ホームページアドレス <http://www.shinbyoinkyogi.jp>  
 Eメールアドレス [byoken@city.kakegawa.shizuoka.jp](mailto:byoken@city.kakegawa.shizuoka.jp)

平成22年11月1日発行

この広報紙は資源リサイクル推進のため、再生紙を利用しています。